				第2回横浜市泉区地区センター指定管理者選定委員会 会議録概要
対	象	施	設	横浜市地区センター条例6施設
日			時	令和元年8月 9日(金) 9時~15時10分
			·	令和元年8月13日(火)9時~15時10分
開	催	場	所	横浜市泉区役所 4 階 4 AB 会議室
出	<u>- i</u> 居		者	<8月9日>
	///	•	П	選定委員:柴田委員長、金子委員、久我委員、宇夫方委員 (計4人)
				事務局 : 7人
				応募団体:【中田コミュニティハウス】和の会(3人)
				【立場地区センター】和の会(3人)
				【中川地区センター】特定非営利活動法人中川コミュニティグループ
				(3人)
				<8月13日>
				選定委員:柴田委員長、金子委員、久我委員、宇夫方委員 (計4人)
				事務局 : 6人
				応募団体:【下和泉地区センター】特定非営利活動法人泉南会(3人)
				【上飯田地区センター】特定非営利活動法人よつ葉の会(3人)
				【しらゆり集会所】白桜会(3人)
欠	———— 盾	芳	者	下村委員
開	催	形	態	非公開
議			題	1 指定管理者応募書類審査及び面接審査
				2 指定候補者の選定
決	定	事	項	1 横浜市中田コミュニティハウス指定候補者に「和の会」を選定
				2 横浜市立場地区センター指定候補者に「和の会」を選定
				3 横浜市中川地区センター指定候補者に「特定非営利活動法人中川コミュニティ
				グループ」を選定
				4 横浜市下和泉地区センター指定候補者に「特定非営利活動法人泉南会」を選定
				5 横浜市上飯田地区センター指定候補者に「特定非営利活動法人よつ葉の会」を
				選定
				6 横浜市しらゆり集会所指定候補者に「白桜会」を選定
議			事	1 開会
				委員長から、委員会が成立していることを報告しました。
				2 事務局説明
				本日の委員会について次のとおり説明しました。
				(1) 資料確認
				(2) 委員会の公開・非公開
				応募団体によるプレゼンテーションから総括審査まで、すべて非公開とする
				ことを説明しました。

議 事 (3) 本日の委員会の流れ

面接審査の後に総括審査を行うことを説明しました。

(4) 応募団体について

各施設とも1団体ずつ応募があり、アイウエオカの順で面接審査を行うこと を説明しました。

- ア 横浜市中田コミュニティハウス
- イ 横浜市立場地区センター
- ウ 横浜市中川地区センター
- エ 横浜市下和泉地区センター
- オ 横浜市上飯田地区センター
- カ 横浜市しらゆり集会所
- (5) 評点方法
- ア 評価基準項目のうち、以下二点について、確認しました。
 - (ア) 「9-2」については、現指定管理者であった場合のみ評価する項目であること
 - (イ) 「9-3」及び「9-4」については、「市内中小企業」か、「施設管理のために設立された地域住民主体の団体」かにより、評価が異なること
- イ 第1回の選定委員会で決定したとおり、候補者選定の最低基準点は委員配当 合計点 720 点の 60%、432 点となることを再確認しました。
- 3 面接審査 (プレゼンテーション及び質疑応答)
- (1) 和の会(中田コミュニティハウス)

ア 団体プレゼンテーション

イ 質疑

(委員)

定年退職後の男性はあまり参加しない傾向がありますが、男性利用者を増やすための事業を検討していますか。

(団体)

男性は、サークルに加入しない人が多く、講座が終わればすぐに帰ってしまいます。当団体が指定管理を行っている立場地区センターでは、男性料理教室を開催していますが、中田コミュニティハウスでは男性向け講座は増やせていません。

男性は1人では来ないものの、誘われれば来る人が多いようです。いい企画を立て、宣伝をまめに行うことが必要と考えています。

団体としては、シニアや健康老人の来館を増やし、シニアクラブや敬老会等で の利用促進をしていきたいと考えています。

(委員)

小・中学生や一般を対象とした英語講座は元教師によるもので、講師料は0円 となっていますが、これはボランティアですか。また、英語の事業としているの は英会話や英検が目的ですか。

議 事 (団体)

英語講座は、ボランティアで行っています。目標を立てやすいように、英検を 目標にしています。

(委員)

財務状況について、損益計算書と貸借対照表を確認しました。平成 31 年 3 月 時点の赤字が 260 万円となっていますが、これは備品購入と人件費が要因と見受けられます。前年度比 300 万円増の人件費の理由を教えてください。

(団体)

常勤職員が1人退職し、代わりに事務補助スタッフを2人配置したことと最低 賃金の増によるものです。

(委員)

利用者アンケートの意見を取り入れて工夫したことはありますか。

(団体)

2年前に1階の交流コーナーが使いづらいとの意見があり、改善のため壁を取り除き、学習室に改修しました。また、中学生以上の利用制限をなくし、飲食も可にしました。

このほか、利用者から直接うかがった意見を反映し、各部屋にハンガー掛けを 設置しました。

(委員)

小・中学生等若い世代の利用について、人的交流を重視した取組例はありますか。

(団体)

青少年指導員やスポーツ推進委員が関わりを持ち活動しています。スマートフォン等のAIに振り回されないように、スポーツ・音楽・芸術などの体験的なふれあいを強化しています。一方、情報発信にスマートフォンを活用したいと考えています。

子どもが知識を実践できることが大切ですし、さらに学校と地域が一体となる ことが重要であると考えています。

(委員)

自主事業について、少人数のものが多いようです。もっと子どもが集まる自主 事業が増えればいいと思います。

講師のほかにボランティアを募って、講座の手伝いをしてもらうことで定員を 増やすという方法も考えられます。

(委員)

施設の活動に難なく入っていける人と、入れない人がいると思います。入り込めない人の利用促進を進めたいと考えます。

議 事 (2) 和の会(立場地区センター)

ア 団体プレゼンテーション

イ質疑

(委員)

体育館のWBGT測定器(熱中症予防を目的とした、暑さ指数を測る機器)は 今年警報が鳴りましたか。また、冷風機にはどんな効果がありますか。

(団体)

WBGT 測定器は時折鳴っています。冷風機の前だけは、冷たい風が吹き涼しくなります。

(委員)

暑い時期は体育室をあまり利用できないと思いますが、使えるようにする工夫はありますか。

(団体)

指定管理者としては、60 万円までの小破修繕を行うことになっており、冷房の設置は何千万円になることが見込まれますので、対応できません。公募資料に今後冷房を設置する可能性があるとの記載があったため、団体としても期待しているところです。

(事務局)

補足します。本市では冷房を設置する方針ですが、時期は未定です。

(委員)

中田コミュニティハウスと比べ、自主事業の経費を指定管理料から多く充当しているようです。一方、「苦手克服スポーツチャレンジ」は指定管理料の充当が0円ですが、なぜですか。スポーツ推進委員を講師にする場合は1回5,000円、4回で2万円かかると思うのですが。

(団体)

講師料は、参加費から充当しています。1人300円×80人の見込みです。

(委員)

3点お聞きします。サービス向上について、中田コミュニティハウスでは利用者アンケートをとっていましたが、立場地区センターではアンケートをとっていますか。

帰宅困難者のための備蓄品があるとのことですが、人数の見込みを教えてください。

また、図書はあるのでしょうか。

(団体)

アンケートは毎年行い、要望には随時対応しています。あなたの声のボックス も図書コーナー入口に設置しています。

帰宅困難者について人数の想定はありませんが、120人分のアルミブランケットを用意しています。ただ、実際に災害が発生したら、人数にとらわれず来た人を受け入れていくものと考えています。

図書については、1万5千冊あり、貸出を行っています。大きな特色はないた

め、資料は省略しました。

(委員)

自主事業を計画する際の方針はありますか。

(団体)

自治会、学校、スポーツ推進委員、利用者アンケートなどからの要望をもとに 計画しています。子育て支援や青少年育成を重視しつつ、年齢性別が偏らない よう考慮しています。

(委員)

地域からの要望はありますか。

(団体)

具体的な要望は多くはありませんが、男性向け料理教室は利用要望によるものです。

(委員)

学校からの事業実施要望はありますか。

(団体)

ありますが、学校からの話は中田コミュニティハウスに対しての方が多いで す。子ども工作教室や、複数校まとめて行う行事について要望があります。

地域の地区経営委員会に、学校や商店街なども入っており、色々な意見が出ます。その意見を参考に、理事会を含めて進めています。

団体の役員は5月から開始しているため、これから情報分析をしながら学校・ 地域と進めていきます。今後を見てほしいと思います。

(委員)

コミュニティハウスと異なり、地区センターは学区より広い区域を利用対象と していると考えてよいですね。学校よりも利用団体の要望を聞いている状況で すか。

(団体)

そのとおりです。

議 事 (3) 特定非営利活動法人中川コミュニティグループ(中川地区センター)

ア 団体プレゼンテーション

イ質疑

(委員)

来年はオリンピックが開催されます。中川地区センターは立地が良いので、体育館でのパブリック・ビューイングなどを開催できませんか。

(団体)

良い発想ですね。来年の夏祭りは、盆踊りよりもみんなでオリンピックを見よう、との声も出ています。地区センター事業としては考えていませんでしたが、 対応できないか検討してみます。

(委員)

ここ3年は利用者数が減少していますが、すべての事業で減少しているのでしょうか。それとも、特定の事業で減少しているのでしょうか。

また、小・中学生の利用が多いようですが、高齢者へはどのような働きかけを 行っていますか。

(団体)

体育館の利用は多く、100%近い利用率です。他の部屋は夜間利用が減少していますが、これは、高齢化により昼の利用に移ってきていることが主な要因です。また、高齢化で廃止になるサークルも増えています。利用の減少に伴い、利用料実績も減少しています。自主事業を夜間にいれて、利用率の向上を図っています。

高齢者の利用については、脳トレや健康体操などを通年で実施しており、人気があります。

(委員)

平成31年度の自主事業計画に記載されている伝統芸能は何ですか。また、講師料2万円でできるのですか。

(団体)

落語や講談です。年1回開催しています。真打に来てもらっています。公共の 事業なので低価格での依頼であることを理解いただき実施しています。

(委員)

他事業についても講師料については理解を得ているのでしょうか。また、毎月 コンサートを行っているのは素晴らしいと思います。コンサートは、いつも満 員になるのでしょうか。

(団体)

原則1回5千円でお願いし、コンサートについては1人2万5千円程でお願いしています。コンサートについては地域在住の音楽家がプロデュースをしていますが、出演者を決めることには苦労しているようです。満員になるかは演目や出演者によります。

(委員)

地域ベースの団体ですが、地域ベースのメリットは何ですか。

議 事 (団体)

本団体が管理している4つの施設が地域の中にあり、それぞれに人が集まって きます。施設の存在がボランティアを育ててくれています。

(委員)

ボランティアの育成に成功していますか。

(団体)

地域の協力は本当に心強く、不可欠なものです。地域もそのことを理解し協力してくれています。また、施設があることで地域が育っている側面があります。

(委員)

利用者の声はどう事業に生かしていますか。

(団体)

利用者会議やご意見箱、図書リクエストなどで出た意見をもとに対応しています。困難な案件は区にお願いすることもあります。コンサートのほか脳トレ体操や健康体操なども要望があって開催するものがあります。

(委員)

自主事業で、30周年事業に100万円を計上していますが、これは積立でしょうか。また、何をするのですか。

(団体)

指定管理料のほか、運営法人の資金から繰り入れをする予定です。式典や記念 誌作成のほか、自主事業のコンサートをプロデュースするピアニストの紹介で、 楽団のヴァイオリニストを呼ぶことも検討しています。

周年事業は費用がかかりますが、地域に感謝の気持ちを伝えることも目的であると考えています。

(委員)

子どもの数が減少し、高齢者の数が増加しているため、孫との事業があるといいと思います。

(団体)

しめ縄飾りや、親子クッキング、将棋などは一緒に参加が可能です。院外健康 教室は国際親善病院とタイアップした事業であり、その他、地域と連携した事業を多く行っています。

(委員)

サークルが運営の中心になることが多いのでしょうか。地域にいい影響を与えたものはありますか。

(団体)

地域で活動している人と地区センターで活動している人が一緒に運営している例もあります。コーラスのつどいやカラオケのつどい、ダンスパーティーなどです。

議 事 (4) 特定非営利活動法人泉南会(下和泉地区センター)

ア 団体プレゼンテーション

イ質疑

(委員)

活発に取り組んでいると感心します。特にお相撲さんとお餅つきには、募集 の 250 人を大きく超えた 650 人の申込があました。事業費が 20 万円と少額で すが、地域から援助があるのですか。

(団体)

もち米 100 キロは地域からの寄付によるものです。事前準備にあたっては、多くの地域の方に協力いただきました。また、近隣の障害者施設からの参加もありました。参加者が多いため、スタッフ配置を増やす等により安全面には配慮しています。

(委員)

子育て支援は、キッズクラブのような登録制ですか。

(団体)

居場所の一つで、登録は不要です。キッズルームの利用対象について以前は幼児のみとしていましたが、小学生も受け入れることとしました。小学生の帰宅時間は午後5時としています。

(委員)

自主事業について、1人あたりの参加費は経費÷人数が妥当だと思うのですが、そうではないものがあるのはなぜでしょうか。

(団体)

無料事業や、ボランティアが講師による事業が多いため、100円、200円のものが多くなっています。

(委員)

平成 29 年度の第三者評価で、雨漏りや風通しの悪さなどを指摘されていますが、これらの対応状況をお伺いします。

(団体)

雨漏りは、平成30年度に区が修繕しました。

(委員)

財務状況について、繰越利益が1千万円程出ています。無料事業が少なく、有料事業の費用が高いことも見てとれますが、どのように考えていますか。

(団体)

運営にあたる不安要素として電気代があります。併設している地域ケアプラザと電気代の実績を按分していますが、地域ケアプラザは主に高齢者利用であることから冷暖房の節約は困難です。また、修繕も不安要素です。収入としては部屋の利用料のみを考えており、自主事業からの収益は想定していません。

(委員)

毎期200万円の利益は区民利用施設としては多いのではと懸念されます。

(委員)

ボランティアの協力が多いですが、気持ちよく活動してもらう工夫はありますか。また、地域ケアプラザ利用者との間でトラブルは何かありますか。

(団体)

ボランティアが多いことについては、地域性によるところが大きいと感じます。地区センターから相談を持ち掛けると、すぐに支援に動いてくれます。連合自治会が人の和を作っています。

地域ケアプラザとのトラブルはありませんが、地域ケアプラザはスタッフが多いこともあり、節電への対応等に関し共有することも必要と感じています。スタッフには、地域ケアプラザ利用者に対しても丁寧に接遇するよう指導しています。

(委員)

地域ケアプラザとの話し合いは、どのようなものですか。

(団体)

定例的なものはなく、地域ケアプラザの所長とは修繕などの事案発生の際に必要に応じ話し合っています。

(委員)

利用者が年間9万人を超えたとのことですが、火災や事故などは今までありましたか。

(団体)

大きな事故は発生していません。わんぱくフェスティバルで、人が多く来場したときにはスタッフ人数を増やし対応しました。子どもが怪我をした場合はすぐに病院へ連れていっています。保険にも加入しています。

(委員)

ヒヤリハット集を作っているのはよい取組です。

(委員)

事故等の対応について他の施設とノウハウを交換することはありますか。

(団体)

市民局や区からの事故等の情報を、スタッフ会議で共有しています。

(委員)

ボランティアのコーディネーターはいるのですか。

(団体)

いません。自治会の会長などを通して、地区へ問い合わせています。会長がコーディネーターの役割をしています。

(委員)

子ども支援について事業計画を見ると年間1回となっていますが実態はどうなのでしょうか。

(団体)

予算の関係で書類上は1回と記載しましたが、日々実施しています。子育て関連事業については、地域ケアプラザにおいて力をいれているため、地区センターでは頻度を減らしています。

議 事 (5)特定非営利活動法人よつ葉の会(上飯田地区センター)

ア 団体プレゼンテーション

イ質疑

(委員)

地域の高齢化率が50%である中、健康講座の募集人数が20人、体操教室が12人というのは少ないように感じます。

(団体)

過去の事業参加者が立ち上げたサークルへ加入する人もいるため、自主事業と しては 20~30 人程度の規模としています。

(委員)

障害者支援については、何を実施していますか。

(団体)

2つあります。1つは、作業所に草刈りを依頼しています。2つ目は、今年から、毎週金曜日に手作りパンの販売をしてもらっています。また、もみじまつりで作業所製品の販売をしてもらっています。今後はパン販売の頻度を増やしたり、カフェのようなものを運営してもらうなどの計画も検討しています。

(委員)

自主事業に指定管理料を充当する場合の基準を教えてください。

(団体)

教室によります。講師謝金は3千円から5千円程度としています。その講師謝金に見合う参加料と、材料費等の実費を利用者負担として計算しています。

(委員)

干支木目込み教室は1人あたり参加費が4千円で8人の募集となっています。 指定管理料からの充当は2万円で、補助が多いように感じます。

(委員)

外国につながる方が地域に多いとのことですが、自主事業にどのくらい参加しているのですか。外国につながる方が参加しやすい行事は考えていますか。また、子どもは言葉を比較的早く覚えますが、大人は習得機会が少なく困難になりがちです。通訳のできる職員はいますか。

(団体)

統計はありませんが、体育室などは日常的に利用されています。外国人の演奏 家に出演いただいたり、部屋を借りたりしています。

地域によっては小・中学生の半分が外国につながる子であり、茶道教室などの利用をされています。通訳のできる職員はいませんが、当団体が運営するいちょうコミュニティハウスで日本語教室を開催しているほか、他の NPO 法人が敷地内で日本語教室を開催しています。

(委員)

外国人にわかりやすいように、館内表記等についてひらがなにするなどの対応 はしていますか。また、外国につながる方との企画は考えていますか。

(団体)

館内表記等の対応はしていません。お困りの方を見かけたら丁寧・親切な声掛けを心がけています。中華料理教室や、ベトナム系住民講師によるアジアンフード講座などを企画しています。

(委員)

複数施設を管理しているメリットは、効率化以外にありますか。

(団体)

運営するエリアが広いため、地域特性も異なります。身近な地域ニーズも反映できると思います。

(委員)

中学生学習室の参加費が比較的高額ですが、事業の概要をお聞かせください。 講師はアルバイトというよりもボランティアの感覚なのでしょうか。人数をそろえる工夫は何かしていますか。

(団体)

講師は10人おり、主に大学生です。1回あたり2時間で、週1回の場合4,200円、週2回の場合は8,400円です。生徒3人までを1人で指導します。

過去に学習室に通っていた子が大学生になり、講師をする循環があり、一種の 伝統になっています。講師募集は、ちらし以外でのPRはしていません。周辺地 域の小・中学生には生徒募集のちらしを配り、生徒は18人です。親にとっても、 年の近い大学生が子どもを見てくれるのはありがたいようです。

(委員)

駅から遠くアクセスが良くありませんが、夜の稼働率はどの程度ですか。また、 車利用が多いのでしょうか。学習室利用の子どもの帰宅はどうしていますか。

(団体)

全体で50%程度の稼働率ですが、特に夜間は低いです。

20 台分の駐車場があり、車利用が多いです。勤め帰りに音楽室を利用したり、 体育室でバドミントンをしたりする方がいます。

学習室は午後9時に終了するため、保護者の方の送迎や、友達同士の帰宅などです。

(委員)

広域を対象とした地区センターですね。地域のニーズはどうやって把握していますか。また、将来的に送迎サービスは考えていますか。

(団体)

南北に長い区域で、主に地区センター近隣の住民が利用しています。今年のもみじまつりでは、試験的に送迎サービスを実施予定で、上飯田町内の12箇所に停車場を設ける予定です。

(委員)

最後に、何かありますか。

(団体)

子育て支援や青少年育成、介護や生涯学習支援などを積極的に行っていきたい と考えています。

議 事 (6) 白桜会(しらゆり集会所)

ア 団体プレゼンテーション

イ質疑

(委員)

集会所は歴史が古く、築年数が経過していますが、利用者の高齢化が進む中で 施設のバリアフリー化は進んでいますか。

(団体)

エレベーターがありますので、車椅子でも利用できます。手摺もついています。 (委員)

自主事業はコンサートが多く、高尚な地域だと感じました。演奏者は地域の方ですか。自分が若い頃には歌声喫茶などがありましたが、そのような雰囲気なのでしょうか。

(団体)

ギターのつどいについては、スタッフが近隣の仲間と演奏しています。三曲会や、フラダンスと連携したウクレレなども行っています。フルートは地元住民のセミプロの方によるものです。

3分の2は演奏、3分の1はみんなで歌う、という形にしています。

(団体)

カラオケ広場は年4回開催しており、自由に歌えます。歌詞カードの配布をしています。

(委員)

収入の増収策として、事業をグレードアップし参加費も増額するという記載が ありますが、グレードアップの具体例は何ですか。

(団体)

フルートの参加費は現在 500 円ですが、フルート奏者を 4 人にして、ピアノも 演奏してもらうこととし、800 円に値上げすることを考えています。

しらゆり連合自治会協賛による子ども広場を8月末に実施します。参加費をもらい、お菓子を用意します。指定管理料に見合った計画をします。

(委員)

自治会町内会未加入者への PR についてお聞かせください。

(団体)

平成30年度末にホームページを開設しました。また、町内会の掲示板にイベント情報などを掲示しています。窓口ではその都度ちらしを配布しています。 しらゆり連合自治会の会合が月1回あり、回覧などをお願いしています。

(委員)

指定管理料の中で行う行事について、音楽が多く、子どもや高齢者を対象としたものが少ないと感じます。

(団体)

しらゆり地区にはもともと高齢者が多いという特徴があります。

子どもや40~50代の方に利用してほしいのですが、例えば親子ヨガは最後の

月になりようやく5組の参加がありました。しかし、今年は保育園に入ったなどにより、参加がありませんでした。事業を考えてはいますが、人を集めることが困難です。

音楽療法は高齢者向けの事業です。医師の講話もありますが、調整に苦労しています。このほか、子どもフェスティバルも企画しています。

(委員)

中・高校生の利用が少ないのは、地域性によるものでしょうか。

(団体)

PR 不足もあるかもしれません。小・中学生の定期的な利用は空手・剣道のみです。子供会の行事があれば、一定数の利用があるため、場所取りを優先することもあります。

(団体)

利用者は65歳以上が65%にのぼります。小学生は少しおり、中・高・大学生は数%しかいません。

(委員)

子育て世代や子どもが求めている活動を調査したことがありますか。

(団体)

窓口で聞いたり、歩いている人にちらしを配ったりしていますが、地域的に難しいのではと感じています。近隣が造成地で、現在は高齢化が進行しています。 子どもの参加を増やしたいと課題認識しており、子どもフェスティバルは対策の一環です。しらゆり連合自治会のイベントですが、しらゆり集会所としてのアクションも必要です。

(委員)

世代間交流が大切と考えます。

(団体)

単発のイベントではなく、経常的に子どもを呼べるものが必要です。

(委員)

施設の老朽化に対する工夫はありますか。

(団体)

今年度、区によりが和式トイレを洋式化しました。ホールの床の劣化が進んでいますが、安全に心がけています。スタッフが可能な範囲で修繕を実施しています。

議 事 4 講評

- (1) 中田コミュニティハウス (和の会)
- ・財務状況が均衡しており、現在の運営状況についても不安はありませんので、引き続き適切な運営に努めてください。
- ・図書が充実しており、幅広い自主事業を計画している点を評価します。
- ・利用者からの意見を取り入れてサービス向上を図っている点と、時代にあわせて スマートフォンでの情報提供を検討している点を評価します。

(2) 立場地区センター (和の会)

- ・財務状況については、中田コミュニティハウスと同じく均衡しており、不安は ありません。
- ・団体独自で災害時の帰宅困難者に対する物資を用意している点や、スポーツを 得手とする方ではなくあえて苦手な方を対象とした自主事業を行っている点など を大いに評価します。
- ・体育室に冷房が入っていないため、利用者への配慮を適切に行ってください。
- (3) 中川地区センター (特定非営利活動法人中川コミュニティグループ)
- ・財務状況は収支が均衡しており、健全な経営ができています。
- ・クラシックコンサートや自然とのふれあいなど、多彩な自主事業を高く評価します。
- ・地域と一体となった運営や、夜間利用率減少への対策など、全体的に満足のできる運営がなされており、今後の運営にも期待ができます。
- (4) 下和泉地区センター (特定非営利活動法人泉南会)
- ・財務状況については、大きな利益が出ているため、利用者への還元を検討する必要があります。
- ・応募関係書類について、現在の課題と対応策とが書かれており、全体的に細かい 気配りのされた内容となっている点を高く評価します。日々の運営も丁寧です。
- ・自主事業が多彩で、地域の力を活用した内容となっている点を高く評価します。
- (5) 上飯田地区センター(特定非営利活動法人よつ葉の会)
- ・財務状況について、収支のバランスのとれた健全な経営ができています。
- ・中学生を対象とした学習室を開催しており、地域の大学生が講師となって教えている点を高く評価しますが、生徒が帰宅する際の安全に配慮が必要です。
- ・外国につながる方が多いため、利用をしやすくする工夫が必要です。交通の便に 恵まれておらず、高齢化も進んでいることについて、送迎手段を検討しているこ とは良い取組です。

議

- (6) しらゆり集会所(白桜会)
- ・財務状況については、収支が概ね均衡しています。
- ・自主事業について偏りが見られます。ただ、施設が老朽化し指定管理料も少ない 中、自主事業等をこれ以上充実させるのは困難なようです。
- ・利用者を増やすため、地域や特に若い世代のニーズを把握することが必要です。

5 指定候補者の選定

【横浜市中田コミュニティハウス 評点結果】(720点満点中)

順位等	団体名	委員合計点
指定候補者	和の会	654 点

【横浜市立場地区センター 評点結果】(720点満点中)

順位等	団体名	委員合計点
指定候補者	和の会	654 点

【横浜市中川地区センター 評点結果】(720点満点中)

順位等	団体名	委員合計点
指定候補者	特定非営利活動法人中川コミュニティグループ	673 点

【横浜市下和泉地区センター 評点結果】(720点満点中)

順位等	団体名	委員合計点
指定候補者	特定非営利活動法人泉南会	665 点

【横浜市上飯田地区センター 評点結果】(720点満点中)

順位等	団体名	委員合計点
指定候補者	特定非営利活動法人よつ葉の会	661 点

【横浜市しらゆり集会所 評点結果】(720点満点中)

順位等	団体名	委員合計点
指定候補者	白桜会	630 点

6 区長への報告

選定結果報告書を作成し、泉区長へ提出します。

資 料	1 資料
•	(1) 進行表
特記事項	(2) 評点表
	(3) 公募要項等
	(4) 質問回答書
	(5) 応募書類
	(6) 応募団体の市税納付状況等の照会結果
	(7) 泉区区政運営方針等
	(8) 現指定管理者の実績に係る資料(平成 26 年度審査報告書、運営実績資料、
	第三者評価シート、等)
	2 特記事項
	特になし